

「山口市中心市街地周辺地区」 都市再生整備計画事後評価委員会

令和7年12月18日



山口市
Yamaguchi City

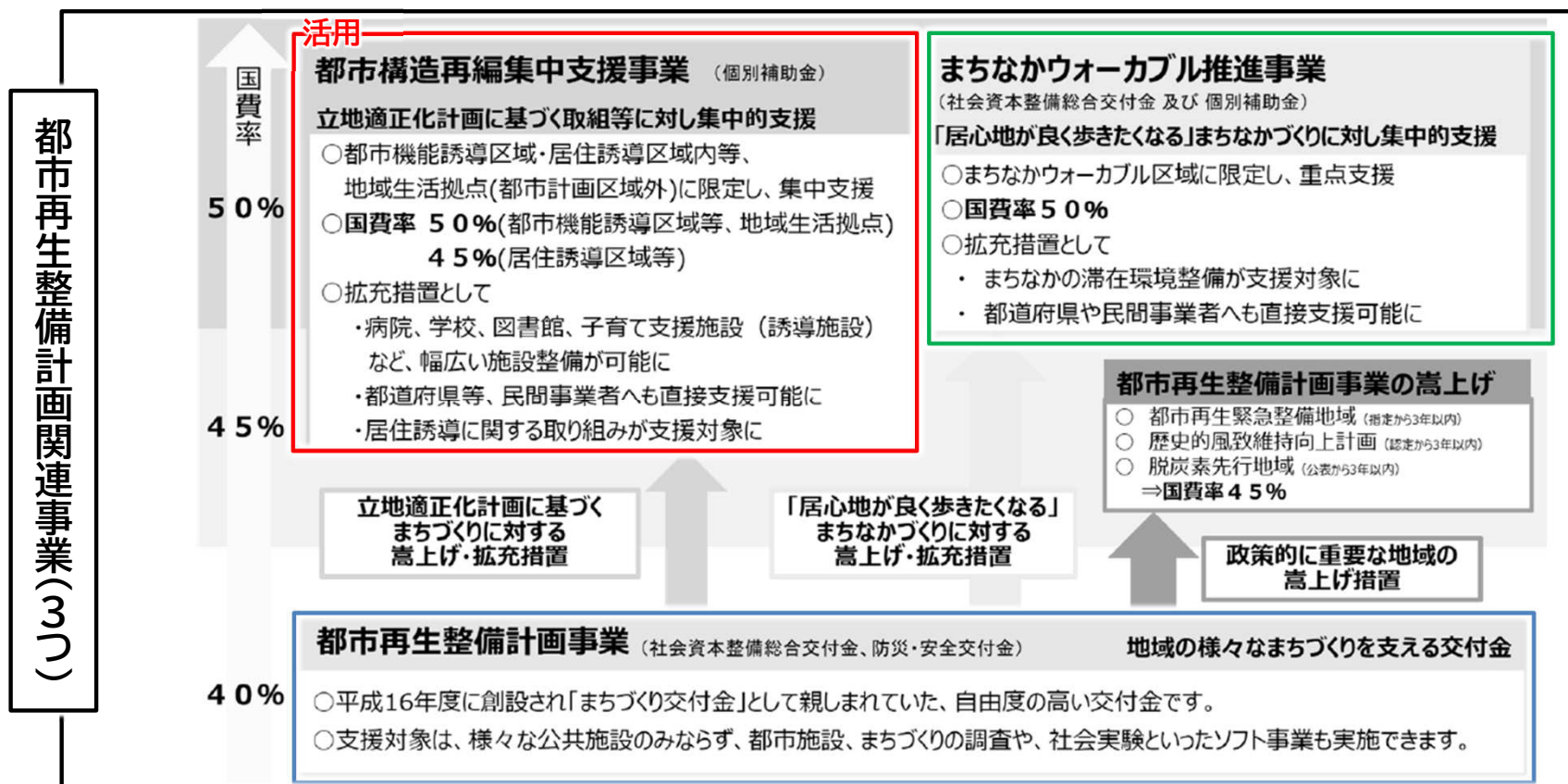
1. 都市再生整備計画関連事業の概要

1. 都市再生整備計画関連事業の概要

■ 都市再生整備計画関連事業の概要

都市再生整備計画関連事業は、市町村がまちづくりの目標や指標を設定し、目標達成のために必要な都市基盤や都市施設の整備・関連するソフト事業等を「**都市再生整備計画**」というまちづくりの計画に位置づけることで、計画に基づく事業を行う市町村等が国費による支援を受けることが可能となる事業です。

都市再生整備計画は、都市再生特別措置法に基づき、都市の再生に必要な公共公益施設の整備等を重点的に実施すべき土地の区域を対象として、市町村が作成することができるものです。



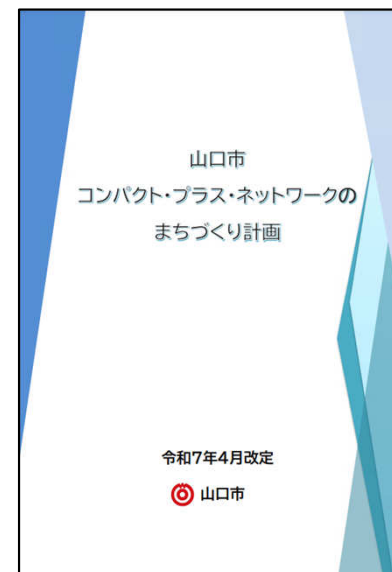
資料：
国土交通省

1. 都市再生整備計画関連事業の概要

■ 都市構造再編集集中支援事業について

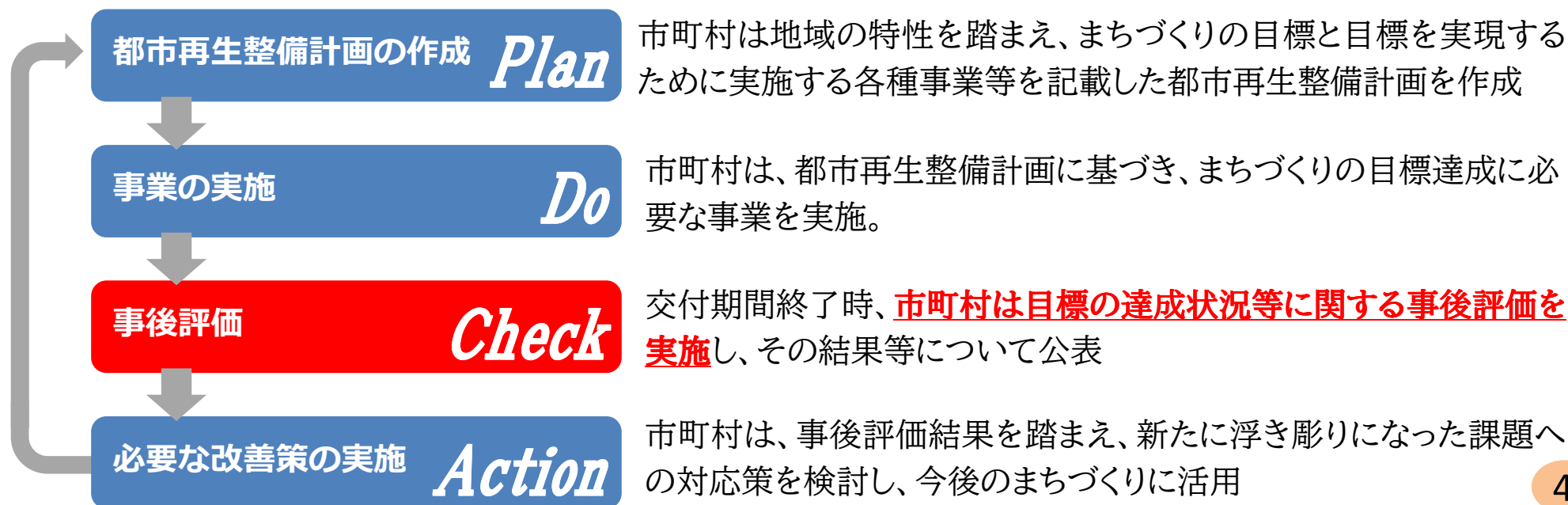
立地適正化計画に基づき、地方公共団体や民間事業者等が行う一定期間内の都市機能や居住環境の向上に資する公共公益施設の誘導・整備、防災力強化、災害からの復興、居住の誘導の取組等に対し、集中的な支援を行うことを目的とする事業です。(令和2年度創設、個別補助金)

都市再生整備計画事業の国費率が40%であるのに対し、都市機能誘導区域内は50%、居住誘導区域内は45%となっています。



山口市における立地適正化計画 (H31.4策定)

■ 都市再生整備計画の流れ



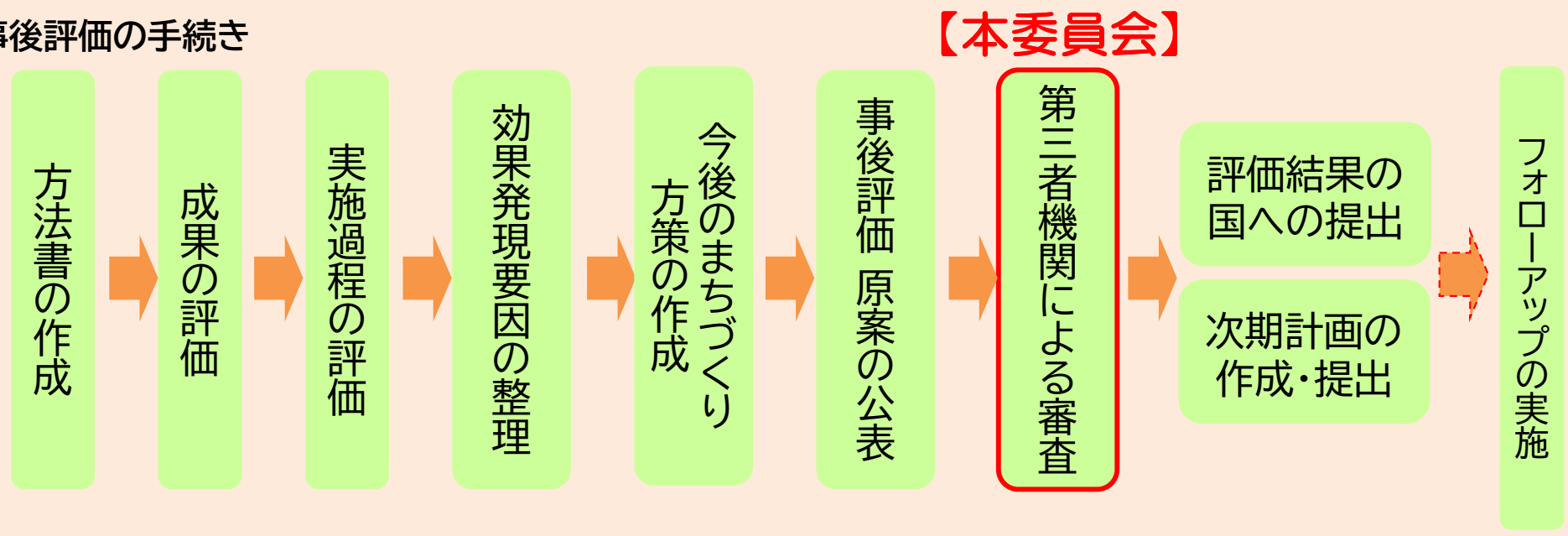
■ 都市再生整備計画 事後評価の目的

事業がもたらした成果等を客観的に診断して、今後のまちづくりを適切な方向で実施すること、及び事業の成果を住民にわかりやすく説明することを目的としています。

◇事後評価の実施主体・実施時期

- 市町村が実施
- 交付終了年度に実施。
- 事後評価時に計測できない指標は、「見込み」の値により評価を行い、翌年度以降にフォローアップを実施。

◇事後評価の手続き



2. 山口市中心市街地周辺地区 都市再生整備計画の概要

2. 山口市中心市街地周辺地区 都市再生整備計画の概要

(1) 目標等

■ 計画期間

令和3年度～令和7年度（5年間）

■ 目標

大目標 新たなにぎわいの創出と回遊性の高い歩行空間の形成により
歩きたくなるまちなかを形成する

目標① 活用を見据えた公共空間の整備により新たなにぎわいの創出を図る。

目標② 沿道土地利用促進と併せた歩行空間の整備により回遊性の向上を図る。

■ 目標を定量化する指標

「市道の歩道の整備状況に対する満足度」

「中心市街地における回遊性の増加」

(2) 計画の変更過程

中心市街地周辺地区都市再生整備計画は、計画期間令和3年～令和7年の間に5回の計画変更(事業費や実施事業の変更)を行っています。なお、計画期間・目標・目標指標・計画概要の変更はありません。

2. 山口市中心市街地周辺地区 都市再生整備計画の概要

(3) 整備方針概要図(参考資料1参照)



議事①

3. 山口市中心市街地周辺地区 都市再生整備計画の事後評価にかかる協議

3. 【議事①】山口市中心市街地周辺地区都市再生整備計画の事後評価にかかる協議

事後評価シート 様式2-1の構成

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	山口県		市町村名	山口市		地区名	中園町周辺地区		面積	14ha																
交付期間	令和2年度～令和7年度		事後評価実施時期	令和7年度		交付対象事業費	1,732	国費率	0.5																	
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	事業名 基幹事業 市道永米羽坂1号線道路整備事業、中央公園(トイレ)整備事業、中央公園(機能強化)整備事業、中央公園(子ども見守り空間整備)整備事業、地域医療支援病院(済生会山口総合病院)整備事業 提案事業																								
	当初計画から削除した事業	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>削除/追加の理由</th> <th>削除/追加による目標、指標、数値目標への影響</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基幹事業 中央公園(子ども見守り空間整備)整備事業</td> <td>子育て世帯の公園利用の利便性向上を図るため、ベンチ等の整備を追加したが、寄贈があったことから変更で削除した。</td> <td>指標目標への影響はない。</td> </tr> <tr> <td>提案事業</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基幹事業</td> <td>子育て世帯の公園利用の利便性向上を図るためベンチ等の施設整備を追加するもの</td> <td>指標目標への影響はない。</td> </tr> <tr> <td>提案事業</td> <td>事業効果分析調査(事後評価)を追加するもの。</td> <td>指標目標への影響はない。</td> </tr> </tbody> </table>										事業名	削除/追加の理由	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響	基幹事業 中央公園(子ども見守り空間整備)整備事業	子育て世帯の公園利用の利便性向上を図るため、ベンチ等の整備を追加したが、寄贈があったことから変更で削除した。	指標目標への影響はない。	提案事業			基幹事業	子育て世帯の公園利用の利便性向上を図るためベンチ等の施設整備を追加するもの	指標目標への影響はない。	提案事業	事業効果分析調査(事後評価)を追加するもの。	指標目標への影響はない。
	事業名	削除/追加の理由	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響																							
	基幹事業 中央公園(子ども見守り空間整備)整備事業	子育て世帯の公園利用の利便性向上を図るため、ベンチ等の整備を追加したが、寄贈があったことから変更で削除した。	指標目標への影響はない。																							
	提案事業																									
基幹事業	子育て世帯の公園利用の利便性向上を図るためベンチ等の施設整備を追加するもの	指標目標への影響はない。																								
提案事業	事業効果分析調査(事後評価)を追加するもの。	指標目標への影響はない。																								
新たに追加した事業	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>削除/追加の理由</th> <th>削除/追加による目標、指標、数値目標への影響</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基幹事業</td> <td>子育て世帯の公園利用の利便性向上を図るためベンチ等の施設整備を追加するもの</td> <td>指標目標への影響はない。</td> </tr> <tr> <td>提案事業</td> <td>事業効果分析調査(事後評価)を追加するもの。</td> <td>指標目標への影響はない。</td> </tr> </tbody> </table>										事業名	削除/追加の理由	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響	基幹事業	子育て世帯の公園利用の利便性向上を図るためベンチ等の施設整備を追加するもの	指標目標への影響はない。	提案事業	事業効果分析調査(事後評価)を追加するもの。	指標目標への影響はない。							
事業名	削除/追加の理由	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響																								
基幹事業	子育て世帯の公園利用の利便性向上を図るためベンチ等の施設整備を追加するもの	指標目標への影響はない。																								
提案事業	事業効果分析調査(事後評価)を追加するもの。	指標目標への影響はない。																								
交付期間の変更	当初	令和2年度～令和7年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響																							
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ	予定時期															
	指標1	地域医療支援病院の紹介率	%	63%	H30	63%	R7	67.8%	○	あり なし	現時点では増替え工事を進めている途中であるが、増替え済みの北棟の共用開始により応答体制等が充実したことで目標値を上回る紹介率となっている。	-														
	指標2							18回	○	あり なし	中央公園の機能強化により、公園の利便性が向上し、イベントの開催回数に繋がっていると考えられる。	-														
	指標3									あり なし																
	指標4									あり なし																
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	その他の数値指標1																									
	その他の数値指標2																									
	その他の数値指標3																									
	その他の数値指標4																									
4) 定性的な効果発現状況	イベントの開催回数が増加し、多くの世帯がイベントの開催に寄与している。																									
5) 実施過程の評価	モニタリング	なし																								
	官民連携	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった 都市再生整備計画に記載し、実施できた																								
	持続的な管理体制の構築	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった																								

1) 事業の実施状況
 ・当初計画に位置づけ、実施した事業
 ・当初計画から削除した事業
 ・新たに追加した事業
 ・交付期間の変更の有無
 等を記載します。

2) 目標を定量化する指標の達成状況
 目標に対する達成状況・効果発現要因(総合所見)を記載します。

3) その他の数値指標
 必要に応じて、当初設定した目標値以外で指標を設定し効果発現要因(総合所見)を記載します。

4) 定性的な効果発現状況

5) 実施過程の評価
 必要に応じて、「モニタリング」「官民連携による取組」「持続的なまちづくり体制の構築」の3項目について実施内容を記載します。

3. 【議事①】山口市中心市街地周辺地区都市再生整備計画の事後評価にかかる協議

庁内ワーキングの実施

事後評価原案の公表にあたって、庁内の関係課による審議を実施。

開催日：令和7年10月15日

関係10課により実施

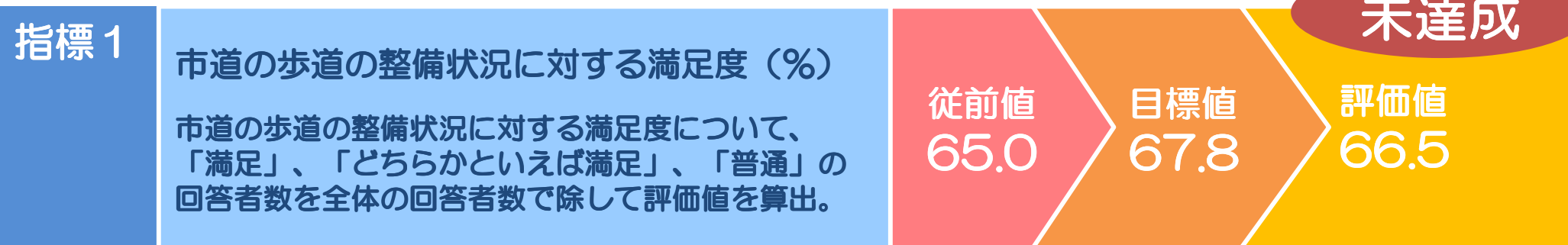
- ・総合政策部 企画経営課、公民連携推進室
- ・都市整備部 都市計画課、都市整備課、道路管理課
- ・交流創造部 文化交流課
- ・商工振興部 中心市街地活性化推進室、ふるさと産業振興課
- ・総務部 本庁舎整備推進室
- ・教育委員会 文化財保護課



3. 【議事①】山口市中心市街地周辺地区都市再生整備計画の事後評価にかかる協議

【事後評価シート 様式2-1】

(2) 目標を定量化する指標の達成状況



従前値：平成29年度 評価値：令和6年度

市役所周辺の道路整備について、全ての道路整備を完了できていないものの、一部道路整備が完了しており、その結果として、目標値よりは低いが従前値よりは高い満足度となっている。

■ 整備前・整備後の状況（一例）



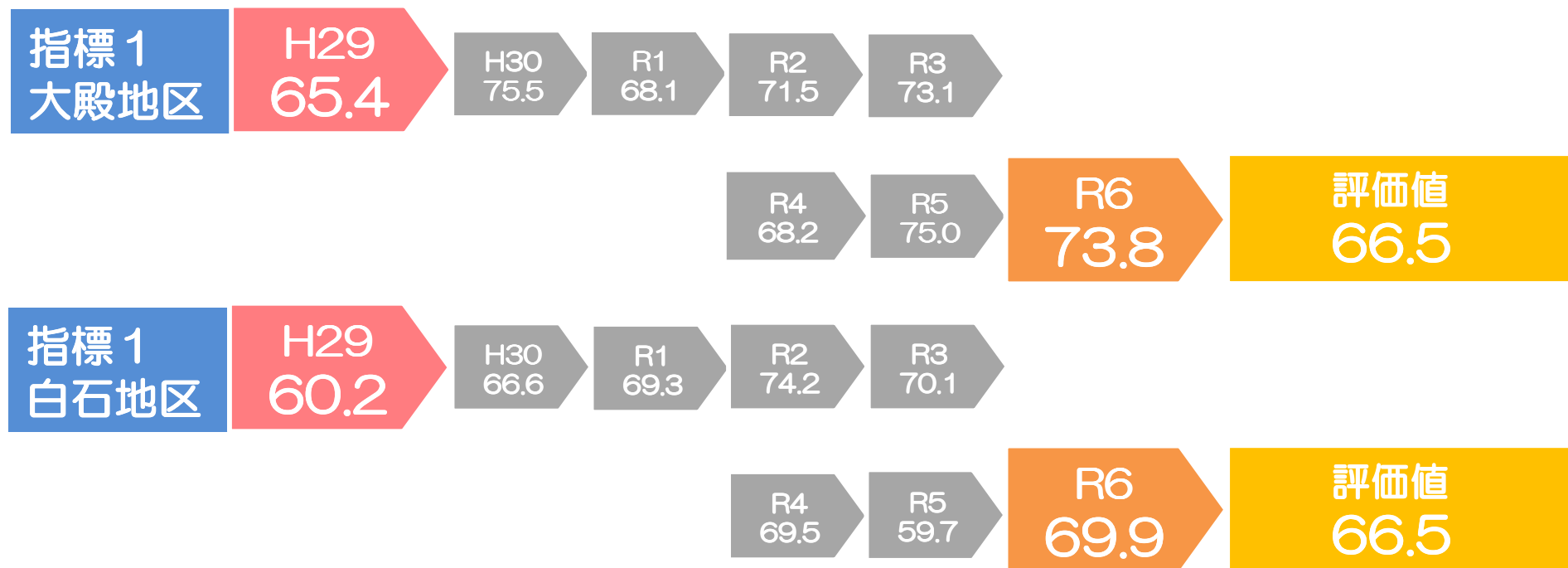
市道東山二丁目道場門前二丁目線



市道下豎中下中河原線

3. 【議事①】山口市中心市街地周辺地区都市再生整備計画の事後評価にかかる協議

【事後評価シート 様式2-1】に関する参考資料



大殿地区と白石地区を抜き出して満足度を参照すると、満足度が高く、指標の目標としては、2.8%の増加を目標としていたが、大殿地区で8.4%の増加、白石地区で9.7%の増加が見られた。

3. 【議事①】山口市中心市街地周辺地区都市再生整備計画の事後評価にかかる協議

【事後評価シート 様式2-1】

(2)目標を定量化する指標の達成状況

指標2

中心市街地における回遊性の増加（回）

中心市街地内の商店街付近の調査地点11箇所を対象に調査員を配置し、休日における歩行者・自転車通行量をカウンタで計測し、把握。

従前値
49,649

目標値
51,859

評価値
25,879

未達成

従前値：令和元年度 評価値：令和6年度

予定していた道路整備や案内板の設置等を全て完了することができなかったことに加え、コロナ禍を経て人々の生活意識、行動に変化が生じ、第5類に意向した後においても歩行者数が戻らなかった結果として、中心市街地における回遊性の目標値に対して未達となっている。

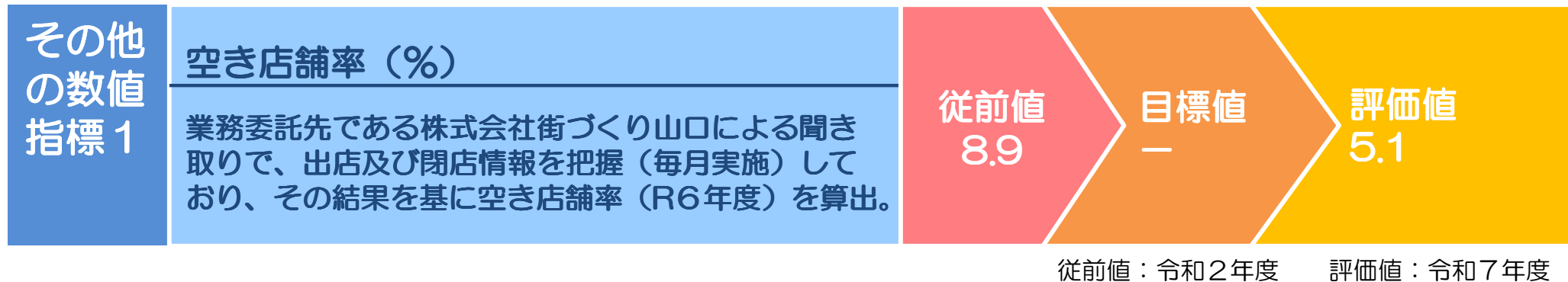
■整備前・整備後の状況（一例）



市道道祖町旭通り一丁目線

3. 【議事①】山口市中心市街地周辺地区都市再生整備計画の事後評価にかかる協議

(2) 成果の評価 その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)等による効果発現の状況



地区の整備に伴う効果として空き店舗率の低下が見られ、中心商店街の活性化を表している指標としてふさわしいと考えられる。

定性的な効果の発現状況

- 整備が進んでいる道路については、安全で快適に歩行者が利用できるようになっており、賑わいもみられる。
- 未整備道路の整備予定も含めて、地元から道路整備を期待する前向きな声や問い合わせもでている。

議事②

4. 今後のまちづくり方策についての協議

4. 【議事②】今後のまちづくり方策についての協議

事後評価シート 様式2-2の構成

様式2-2 地区の概要							
山口市中心市街地周辺地区(山口県山口市) 都市再生整備計画事業の成果概要							
まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値			
大目標 新たにぎわいの創出と回遊性の高い歩行空間の形成により歩きやすくなるまちなかを形成する ・活用を見据えた公共空間の整備により新たにぎわいの創出を図る。 ・沿道土地利用促進と併せた歩行空間の整備により回遊性の向上を図る。	市道の歩道の整備状況に対する満足度	単位:%	65.0	H29	67.8	R7 67.5 R6	
	中心市街地における回遊性の増加	単位:人/日	49,649	R1	51,859	R7 24,143 R6	

地区の概要として、位置図と実施した事業の写真を掲載します。

まちの課題の変化	<p>残された課題 道祖町旭通り一丁目線、桜島一丁目下後河原線、黄金町野田1号線等、引き続き予定していた道路整備を実施し、ゾーン間の連携強化に資する都市基盤整備や安全性・利便性の高い歩行空間整備を進める必要がある</p> <p>新たな課題 中心市街地とその周辺地区において、一部の道路整備を進めてきているが、今後のステップとしては、各地区の魅力向上に資する取組の連携や顔の場の創出や共有を検討する必要がある</p>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<p>中心市街地とその周辺を対象エリアとして、公共空間のオープンスペース等において、社会実験等を行っている。地区全体の魅力向上、顔の場の創出を検討している。</p> <p>山口都市核の各ゾーン(大内文化ゾーン、山口市中心市街地ゾーン、山口市中心市街地周辺ゾーン)の魅力を高め、これまで整備した各ゾーンを繋ぐ大きな効果をもたらし、中心市街地全体の魅力を高めることに取り組んでいる。</p>

まちの課題の変化(残された課題と新たな課題)および今後のまちづくり方策(改善策を含む)を記載します。

4. 【議事②】今後のまちづくり方策についての協議

【事後評価シート 様式2-2】

残された課題

道祖町旭通り一丁目線、桜島一丁目下後河原線、黄金町野田1号線等、引き続き予定していた道路整備を実施し、ゾーン間の連携強化に資する都市基盤整備や安全性・利便性の高い歩行空間を進める必要がある。

新たな課題

- 中心市街地とその周辺地区において、各ゾーンの軸となる道路整備を進めてきているが、今後のステップとしては、**各地域に有する様々な地域資源を結びつける取り組みが重要である。**

今後のまちづくり方策

- 中心市街地とその周辺を対象エリアとして、公共空間等を活用した「居心地が良く歩きたくなるまち」を形成する「まちなかウォークブル」の推進に取り組んでおり、エリア内の公共空間や民有地のオープンスペース等において、社会実験等を行い、地区全体の魅力向上、憩いの場の創出を検討していく
- 山口都市核の各ゾーン(大内文化ゾーン、亀山周辺ゾーン、中心商店街ゾーン)においてこれまで整備した各ゾーンを繋ぐための軸となる主要な道路の整備を引き続き行うとともに、各ゾーンを結びつけるための結節点の整備や既存施設の活用を図り、新たなにぎわいの創出と回遊性の向上を図り、各ゾーンに相乗効果をもたらすようなまちづくりを進めていく。

5. 今後のスケジュール

■事後評価における今後のスケジュールについて

令和8年3月

- 事後評価シートの最終とりまとめと国への提出
- 評価結果の公表（令和8年3月）

令和8年度以降

- 次期計画の実施

◇事後評価の手続き

【本委員会】

